

令和2年度シラバス (公民)

学番41 新潟県立見附高等学校

教科(科目)	公民 (現代社会)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年 (必修)
使用教科書	最新現代社会 新訂版 (実教出版)				
副教材等	クローズアップ現代社会2020 (第一学習社)				

1 学習目標

- 1 現代社会の諸課題について、政治・経済、社会・文化・倫理など様々な観点を探求し、時事的な問題を切り口に、「幸福」「正義」「自立」を考察する。
- 2 資料の収集法や活用の仕方、レポートのまとめ方、学び方 (スキル) を身に付けさせる。
- 3 現代社会について多角的な視点から考察させるとともに、現代社会と自己との関わりに注目させ、いかに生きるかを主体的に考えさせる。

2 指導の重点

現代社会の諸課題について、遠くの世界の出来事ではなく自分の生活に関わる身近な問題であると感じさせるよう、最近のニュースを紹介・解説する時間を設ける。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	第1部 私たちの生きる 社会	第1章 地球環境問題 第2章 資源・エネルギー問題 第3章 生命科学と情報技術の課題	・現代社会における諸課題、特に生命、情報、環境を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤としての幸福、正義、公正などの枠組みについて理解する。 ・生命、情報、環境などを中心に現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 ・生命、情報、環境などを中心とした現代の諸課題をどのように解決するか、どうあるべきか、自分なりの考えを持つ。	7	・授業態度 ・習得評価 ・提出課題 ・小テスト
5	第2部 現代の社会と人間 第1編 青年期と自己の 形成 第2編 現代の民主政治 と日本国憲法	第1章 自分らしく生きる 第2章 人間としてよく生きる (中間考査) 第3章 日本人としての自覚 第1章 現代国家と民主政治 1 民主政治の基本原則 2 法の支配と法の意義・役割	・生涯における青年期の意義を理解する。 ・自己理解を進め、自己形成の課題を考察し、勤労観・職業観を含め、どのような社会参加を果たしていくのか、など自らの人間としての在り方生き方について考察する。 ・伝統や文化が日常生活に与える影響に着目し、現代社会における青年の生き方について自覚を深める。 ・人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。	2       13	・授業態度 ・習得評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
6		3 民主政治のしくみと課題 4 世界のおもな政治制度 第2章 日本国憲法の基本性格 1 日本国憲法の制定 2~4 基本的人権 (期末考査)	・政治参加の重要性と民主社会における自ら生きる倫理について自覚を深め、主権者としての意識を身に付ける。・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法で定める基本的人権の保障、平和主義について理解を深める。 ・生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察する。		・授業態度 ・習得評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
7		5 人権の広がりや公共の福祉 6 平和主義とわが国の安全 7 こころの処方箋問題	・日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。	5	・授業態度 ・習得評価 ・提出課題
8		第3章 日本の政治機構と政治参加 1 政治機構と国会	・日本の行政、立法、司法制度について理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。	10	・授業態度 ・習得評価 ・提出課題
9		2 行政権と行政機構の拡大 3 公正な裁判の保障 4 地方自治と住民福祉	・法や規範の意義や役割について理解を深め、法意識を高める。 ・地方自治の意味を理解する。		・授業態度 ・習得評価 ・提出課題 ・小テスト
10	第3編 現代の経済社会 と国民生活	(中間考査) 5 政党政治と選挙制度 6 世論と政治参加 第1章 現代の経済社会 1 経済社会の変容	・政治参加の重要性と民主社会における、自ら生きる倫理について自覚を深めさせ、主権者としての意識を身に付ける。	2    8	・授業態度 ・習得評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査

11		<p>2・3 市場のしくみと現代の企業</p> <p>4・5 国民所得と経済成長</p> <p>6・7 金融と日本銀行の役割</p> <p>8・9 租税と財政の役割、日本財政の課題</p> <p>第2章 日本経済の特質と国民生活</p> <p>1・2 日本経済のあゆみ</p>	<p>・現代の経済社会の変容について理解を深める。</p> <p>・市場機構の機能と限界を理解させ、市場の問題点を考察する。</p> <p>・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。</p> <p>・経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。</p> <p>・政府の役割と財政、租税、金融について理解を深めさせ、日本の経済政策の方向性を考察する。</p>	4	<p>・授業態度</p> <p>・発問評価</p> <p>・提出課題</p> <p>・小テスト</p>
12		<p>(期末考査)</p> <p>3・4 中小企業と農業、消費者問題</p> <p>5 公害の防止と環境保全</p> <p>6・7 労働問題と労働者の権利</p> <p>8 社会保障の役割</p>	<p>・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。</p> <p>・日本の雇用、労働、社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。</p>	7	<p>・授業態度</p> <p>・発問評価</p> <p>・提出課題</p> <p>・定期考査</p>
1	第4編 国際政治と人類 の課題	<p>第1章 国際政治の動向</p> <p>1 国際政治の特質</p> <p>2 国際連合と国際協力</p>	<p>・グローバル化が進化する国際社会の政治の動向を理解する。</p>	10	<p>・授業態度</p> <p>・発問評価</p> <p>・提出課題</p>
2		<p>3 第2次世界大戦後の国際政治</p> <p>4 人種・民族問題</p> <p>5 軍拡競争から軍縮へ</p> <p>6 国際平和と日本の役割</p> <p>第2章 国際経済の動向と国際協力</p> <p>1・2 貿易・国際収支と外国為替市場</p> <p>3・4 戦後からこんにちまでの国際経済</p> <p>5 発展途上国の諸問題 (学年末考査)</p> <p>6 経済協力と日本の役割</p>	<p>・国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮について理解する。</p> <p>・国際社会における日本の果たすべき役割や生き方を考察する。</p> <p>・国際社会における貧困や格差について理解する。</p> <p>・先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。</p>	1	<p>・授業態度</p> <p>・発問評価</p> <p>・提出課題</p> <p>・定期考査</p>
3	第3部 共に生きる社会 をめざして		<p>持続可能な社会の形成にご参加するという観点から課題を追求する活動を通して、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。</p>	1	

計 70時間 (50分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・各單元ごとに小テストがあります。
- ・夏期休業中に課題を別途指示します。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
<p>関心・意欲・態度</p> <p>現代社会の基本的問題と人間の関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的によりよい社会の実現に向けて参加 協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p>	<p>資料活用の技能</p> <p>現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学ぶ方を身に付けている。</p>	<p>知識・理解</p> <p>現代社会の基本的問題と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。</p>
以上の観点を踏まえ、定期考査・小テスト・日常の課題・休業中の課題・授業中の態度等から総合的に判断して行う。			